

審議会等の会議結果報告書

課所名

企画政策課

会議名 令和5年度 第1回 諏訪市行政改革推進委員会

開催日時 令和6年2月15日(木) 午前10時30分～午後0時15分

出席者 佐久会長、飯田委員、大島委員、倉嶋委員、小松委員、酒井委員、中野委員、西田委員、増田委員、宮下委員、矢崎委員、山谷委員、山村委員(以上13名)
金子市長、前田企画部長、柳平企画政策課長、金子財政課長、花岡財政係長、唐木田スマート化推進係長、矢崎スマート化推進係主査

資料

- ・資料1 令和6年度当初予算(案)の概要
- ・資料2 上諏訪駅前周辺一体化整備に向けて
- ・資料3 個別施設計画 概要版(R5.3月時点)
- ・資料4 公共施設・業務スマート化進捗状況

協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

1. 開 会(進行:企画政策課長)

2. 市長あいさつ(金子市長)

お忙しい中委員の皆様にはお集まりいただきありがとうございます。委員の皆様のご意見ご提言をいただき行政改革を進めています。第六次諏訪市総合計画に掲げた将来像を目指し、行政経営の適正化に取り組んでいます。2月13日には、令和6年度当初予算案を発表しました。20日招集の議会で審議をしてもらいます。新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、少しずつ日常を取り戻しつつありますが、一方で能登半島地震もそうですが自然災害、物価高騰、DXや社会構造の変化など、取り組まなければならない多くの課題があります。そのような時代にあっても、目標に掲げている将来像に向かって、時機を逸することなく未来への責任を果たさなければならないと思っています。新年度当初予算は、今年の干支にちなみ雲間を登る龍のような力強い発展の年にするとの決意を込めた「登龍予算」と名付けました。

本日は、令和6年度当初予算の概要、財政状況、今後の大規模な事業など、持続可能な行政経営に向けた重要事項を説明させていただき、委員の皆さんからそれぞれの立場で忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。

また、デジタル革命ともいわれる時代でDXの取組がますます重要になっており、「業務スマート化」をキーワードに様々な取組を進めております。令和6年度はこれを実装に向かって大きく動いていきます。これらの取組状況についてもご報告申し上げます。委員の皆様それぞれのお立場からのご指導・ご提言を賜りますようお願いいたします。

3. 議 事(議長:会長)

一年ぶりに会議が開催されるということでよろしく申し上げます。

諏訪市の人口が、平成12年には53,000人くらいでしたが現在は47,000人まで減っています。6,000人も減っており一つの村が無くなってしまいくらいの減り方です。そんな中で公共施設の維持管理も厳しい運営が続いています。その当たりもご理解いただきながら会議を進めてまいりますのでよろしく申し上げます。

・報告事項

(1) 令和6年度当初予算概要及び(資料1) (事務局説明)

(2) 上諏訪駅周辺の一体的整備事業の概要(資料2) (事務局説明)

<質問・意見等>

○委員

資料の主要事業概要編の各項目にページの記載があるが、どこを見ればよいのか。

○事務局

本日の資料として配布しているのは抜粋になっている。市ホームページには全て公表しており「当初予算案の概要」に一覧があり、そのページを記載してある。

○委員

(2) 資料にある財政指標と広報すわ 2 月号に掲載されている財政指標は別のものか。他の事業も含めると増えてしまうということか。

○事務局

ご指摘のとおり。(2)で説明した3事業について遂行した場合にこうなるという見込みである。これ以外の事業については未確定のため、それを含まるとこの数字は上がってくる想定をしている。早期健全化基準にはまだ及ばないので、健全な運営ができるのではないかと考えている。

○委員

夕張市の破綻から出てきた考え方が、諏訪市としての目標値を具体的な数字で示してもらえると分かりやすい。この数字だけ見てもかけ離れており説得力に欠けると考える。

○事務局

ご指摘のとおり。3事業をやりながら他の事業をはめ込んで、実質公債費率や将来負担比率がどうなるかを示せることが一番良いと思う。平成19年度を見ると、公社の債務保証があるため将来負担比率は高めだった。公社の土地も毎年2億円ほどずつ買い取りをしている。そういうものを積み上げて、令和4年度の速報値では将来負担比率が56まで下がっている。この将来負担比率は、なるべく数字を下げていく必要があるが、そのためには例えば起債を多く借りない、基金を貯めるという方法があるが、貯めればよいというわけではないので、数字があまり高くないようにやっていく必要はあると考えている。

○委員

駅前の再開発の資料だけを見て、この数字だから大丈夫という説明があったが、全体を含めた話であったのか気になったため質問した。

○事務局

委員のご指摘のとおり。令和6年度の当初予算案の発表と同時に、今後数年間でどのような財政状況になるのかを出せればよかったが、研究中である。今後精度を高めていけるように考えていきたい。この委員会でご質問や議論をしていただく目的でご説明したため、貴重なご意見をいただきありがたい。

○委員

DXについて、今回の資料にあるように音声で聞ける素晴らしいものが作られているなど思う一方で、それが固定費になる可能性や、住民の活用ニーズがあるのかを考えたときにDX推進状況とその費用がどのようになっているのか。市役所1階の窓口を見たときに本当にDXが進んでいるのか疑問に感じる部分もあり、全体の口

ードマップを描くことが大事。諏訪市としてどう感じているのか教えてほしい。

○事務局

ペーパーレスの推進については、コピーの単価が従来に比べて10倍の想定になるなど、様々な状況変化に対応して検討を進めた施策。プリンタやコピー機の台数を減らし省電力化のものに更新する取組を進める。経費も環境負荷低減の点でも節約の効果があると思う。音声合成サービスも無料ではなくコストがかかるが、視覚障がい者だけでなく、窓口で職員が説明する内容をQRコードで読み取り聞いてもらうなど利便性向上や効率化が図れるため、コストがかかる部分もやむを得ないと考えている。この他、立会記録の電子化は過去からの膨大な量の紙資料の積み上げがあるので、手間やコストがかかる。ただ、一度やっしまえば維持費としてはそれほどかからないと思う。利便性の向上に寄与するものであれば多少コストがかかってもやっていくべきという部分もあるため、費用対効果とコストを両睨みしながら考えていく。

○委員

市でやっていることは素晴らしいと思うので、効果的に宣伝もするとよい。

○委員

能登半島地震で、特に水道の復旧に時間がかかっていると聞く。水道事業の予算については一般会計には入っていないと思うが、インフラ整備の項目の中に水道事業のデータがあれば分かりやすいと思った。

○事務局

予算資料の一覧表に下水道の総合地震対策事業が載っている。水道温泉下水道の経営戦略を2か年で策定していく。市内全域地震が来た場合に、何も被害が無いように対策できるかは難しいが、老朽化対策、地震対策は企業会計でやっている。

○委員

今年度実施していただいた「CoDMON」は、大変便利で、登園降園時間も登録してある保護者へメール配信するので大変助かっている。ただ、今までなかった業務が増えることで先生の負担が増えているのではないかと懸念する。先生たちが本当に楽になっているか。子供たちの安全という面では大変ありがたい。

○事務局

利用者である保護者の皆様が便利になる一方で、保育士もこれまで職員室で行っていた作業が、保育室の端末でもできるメリットがある。導入したばかりで今はまだ過渡期にあるため、一時的に負担が大きいかもしれないが慣れて浸透することでメリットが大きくなると考える。こども課とも状況確認をしながら対応していきたい。

○委員

保護者会でもアクセスできれば便利だと思うので検討してもらいたい。

○事務局

個人情報も多いためセキュリティ面の問題がある。活用できれば利便性も高まるということなら、今後担当課に確認をさせてもらう。

(3) 公共施設等総合管理計画の進捗状況(資料3) (事務局説明)

(4) 業務スマート化プロジェクトの進捗状況(資料4) (事務局説明)

< 質問・意見等 >

○委員

全ての人がスマホを使えるわけではないため、システムを導入するならそこを考えないと混乱が生じてしまうことを危惧している。スワンバスは2市1町で運営しているが課題もあり一元化が必要。バス停の雪かきがされていないとか、運営上の課題がある。道路状況や天候についてのデータが提供されるようになるといい。

○委員

食器のぐるぐる市を今まで9回開催した。東バル跡地を使っていたが昨年からは使えなくなった。代わる場所を探したが、屋根があり、広い駐車場があり1,200人規模の人が集まるための施設が無い。安心して使用できるそういう場所が必要。

○委員

初めて委員会に参加し説明を聞かせてもらい、子育て等様々な取組をしていることが分かり良かった。聞きながら学んでいきたいと思う。

○委員

保健補導員の県の団体から出て今後独自の団体になる。
現在諏訪市の高齢化率はどのぐらいか。

○事務局

おおよそ32%。6市町村の中での高齢化率は真ん中くらいの位置。

○委員

高齢化率が高くなってきており、定年も延長し、高齢の方のマンパワーも必要になってくる。勉強会まではいかなくても高齢の方がDX等に対応できるよう対策が必要。

○委員

今年度から来年度にかけてDXが大きく動いていることを実感している。業務スマート化を推進することで職員も働きやすく市民サービスを提供しやすい環境で働きたいと思う。現場の声をよく聞いて調整をしてほしい。

○委員

市役所の方たちはよくやってくれていると思うが、市民にそれが伝わっていないことが課題。子育て支援事業について充実しているが、児童クラブ放課後デイサービスとの連携に課題がある。保護者の利便性が良くなるようにしてほしい。具体的には、四賀小では児童クラブの在籍児童が多いが、エアコンが無い部屋がある。無いことに格差を感じるため、なぜつけられないか、納得できるように理由を明確にしてほしい。不満を持っているだけでもストレスなので、今後どのような計画があるか等伝えてもらい、コミュニケーションを取りながら進めてほしい。

○委員

諏訪市の方向性がよく分かった。仕事柄企業の社長と会う機会が多いが、景気が悪く製造業が非常に苦勞されている。人材の確保が課題。今後は人材確保、人材育成の施策が大事になるので考えてもらいたい。

○委員

民生委員もやっており、地区ごとの温度差が大きいと感じる。地域の活動も区長の考えによるところが大きく、

進んでいない地区もある。何かあった際には地域力がとても大事だが、子供のころから市の仕組みを学んだり区と関わりを持ったりして、地域はみんなで作っていくものだと多くの人に分かってほしいと思っている。

○事務局

昨日、区長会議を開き、意見交換をした。どの区も人材不足等の課題を抱えており、悩みを互いに共有する機会となった。小さい取組から始めてつながりができることで大きな取組になればと考えている。

○委員

人材という点で、諏訪から出て行った子供たちが諏訪に帰ってくるためには、子供のころから諏訪を好きになってもらうことが大事。ヒシ取りの作業を中高生に参加してもらったり、諏訪湖の中に水中カメラを入れたり、テクノロジーを活かして諏訪東京理科大学や市と連携していきたい。

7. 今後のスケジュールについて（事務局説明）

任期は令和6年12月3日までとなっておりますので、任期満了の2か月前くらいを目安に各団体様へ推薦依頼を送付させていただく予定です。今後の委員会の開催については、新体制が決まったところでお諮りしていきますので、よろしくお願いたします。

8. 閉 会（企画部長）

本日はお忙しいところ委員各位ご出席いただき、貴重なご意見をありがとうございました。会議時間が伸びてしまい申し訳ありませんでしたが、貴重な意見をたくさん出していただき、大変ありがたい機会でした。今回の意図は、今後新しい諏訪市を作っていくに当たり様々な取組をやっており、それに合わせ、業務のスマート化をしていく、そういう取組をしていることを皆さんに知ってもらいどのように受け止めていただけるか率直な意見をいただきましたかった、というものです。今後大きな事業の計画もしており、財政状況がどのようになるかを知っていただく機会が必要と考えています。機会を捉えて会を設けていきたいと考えておりますので、今後も引き続き貴重な意見をいただきますようお願いいたします。本日はありがとうございました。